

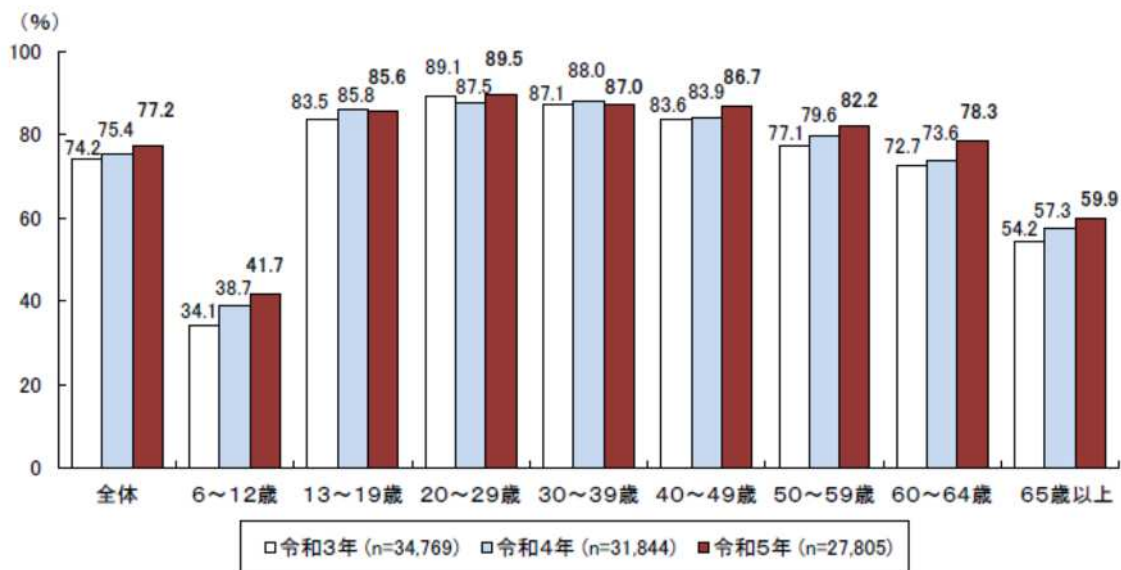
最近の青少年を取り巻く状況

1 SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用実態

(1) SNS を利用する人の割合（全年代）

- ・13～19歳は令和5年の割合が令和4年より微減しているが、6～12歳の増加率は60～64歳に次いで大きくなっており、50%に近づいている。
- ・13～19歳は、約9割が何らかの形でSNSを利用しており、生活と切っても切り離せないものになっていると言える。

インターネットでSNSを利用する人の割合（時系列、年齢階層別）



(R5 総務省 通信利用動向調査（世帯編））

(2) 主な SNS の種類

種類	特徴	16～29歳の主な利用用途
LINE	主にチャット・電話・ビデオ通話により、リアルな友人・知人との交流、連絡に使用。	「友人・知人とやり取りをする、投稿を見る」が9割以上。
X (Twitter)	140文字以内の文章を投稿する。特に拡散性がある。複数のアカウントを設定できる。(匿名アカウントも多数存在。)	「友人・知人とやり取りをする、投稿を見る」のほか、「投稿する」が多い。
Instagram	写真・動画をメインに投稿し、ユーザー同士で共有。Facebookなど他のSNSと連携することで拡散性が高まる。	「検索・情報収集をする」が多い。
TikTok	ショートムービーを投稿・共有。動画保存機能あり。拡散力高い。	

(3) SNSの種類別利用率(全年代)

- 年代別 SNS 利用率を確認すると、10代は X (旧 Twitter) や Instagram、TikTok の利用率が他の年代と比べて多い。(TicTok は全年代で一番高い利用率)
- YouTube は令和4年度と比較して10代の利用率が減少したが、LINE、X、Instagram、TicTok は利用率が増加している。
- 友人や知人とやりとりをする LINE に加えるかたちで、複数の SNS を利用している人が多い。

主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率(全年代・年代別)

	全年代(N=1,500)	10代(N=140)	20代(N=217)	30代(N=241)	40代(N=313)	50代(N=319)	60代(N=270)	男性(N=760)	女性(N=740)
LINE	94.9%	95.0%	99.5%	97.9%	97.8%	93.7%	86.3%	93.3%	96.5%
X(旧Twitter)	49.0%	65.7%	81.6%	61.0%	47.3%	37.0%	19.6%	49.9%	48.1%
Facebook	30.7%	10.0%	28.1%	44.4%	39.3%	32.6%	18.9%	32.8%	28.5%
Instagram	56.1%	72.9%	78.8%	68.0%	57.2%	51.7%	22.6%	48.8%	53.6%
YouTube	87.4%	94.3%	97.2%	97.1%	92.0%	85.4%	66.3%	89.0%	85.9%
ニコニコ動画	13.7%	23.6%	24.4%	17.8%	10.5%	9.4%	5.2%	16.4%	10.9%
TikTok	32.5%	70.0%	52.1%	32.0%	26.8%	25.4%	13.0%	29.2%	35.9%

(参考)【令和4年度】主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率(全年代・年代別)

	全年代(N=1,500)	10代(N=140)	20代(N=217)	30代(N=245)	40代(N=319)	50代(N=307)	60代(N=272)	男性(N=760)	女性(N=740)
LINE	94.0%	93.6%	98.6%	98.0%	95.0%	93.8%	86.0%	91.3%	96.8%
Twitter	45.3%	54.3%	78.8%	55.5%	44.5%	31.6%	21.0%	44.3%	46.2%
Facebook	29.9%	11.4%	27.6%	46.5%	38.2%	26.7%	20.2%	31.6%	28.2%
Instagram	50.1%	70.0%	73.3%	63.7%	48.6%	40.7%	21.3%	41.4%	58.9%
mixi	2.0%	2.9%	1.8%	4.1%	1.6%	1.6%	0.7%	2.8%	1.2%
GREE	1.4%	2.9%	2.8%	2.4%	0.3%	1.0%	0.4%	1.4%	1.4%
Mobage	2.1%	6.4%	2.8%	4.1%	1.3%	1.0%	0.0%	2.8%	1.5%
Snapchat	1.7%	4.3%	3.7%	2.9%	0.9%	0.7%	0.0%	1.7%	1.8%
TikTok	28.4%	66.4%	47.9%	27.3%	21.3%	20.2%	11.8%	25.7%	31.2%
YouTube	87.1%	96.4%	98.2%	94.7%	89.0%	85.3%	66.2%	89.9%	84.2%
ニコニコ動画	14.9%	27.9%	28.1%	17.1%	9.1%	10.4%	7.7%	19.7%	10.0%

(総務省 令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書)

(4) 動画共有・配信サービス等の種類別利用率（全年代）

- ・年代別動画共有・配信サービス等の種類別利用率を確認すると、10代はいくつかのサービスを除き、全年代の利用率を上回っているものが多い。
- ・会員にならないと利用できないサービスの場合、ABEMA、Tver のように無料で利用できるものや、Amazon プライムやNetflix、Hulu のようにアカウントを共有して利用可能なサービスの利用率が高い傾向がある。

主な動画共有・配信サービス等の利用率(全年代・年代別)

	YouTube (ユーチューブ)	niconico(ニコニコ)	Netflix(ネットフリックス)	Amazonプライムビデオ	Disney+(ディズニープラス)	DAZN(ダゾーン)	ABEMA(アベマ)	U-NEXT(ユーネクスト)	Lemino(レミノ)	Hulu(フルー)
全年代(N=1,500)	90.2%	14.1%	26.2%	42.9%	8.5%	3.9%	17.9%	7.5%	1.9%	8.1%
10代(N=140)	95.7%	23.6%	32.9%	49.3%	5.7%	4.3%	26.4%	7.1%	4.3%	12.9%
20代(N=217)	98.2%	24.9%	46.1%	53.9%	16.1%	5.5%	30.0%	12.9%	4.6%	14.7%
30代(N=241)	97.5%	19.1%	27.0%	51.0%	10.8%	6.6%	18.3%	8.3%	1.7%	6.2%
40代(N=313)	94.6%	10.5%	22.0%	47.3%	6.7%	2.9%	16.0%	8.3%	1.0%	6.7%
50代(N=319)	87.8%	9.4%	22.9%	35.4%	7.8%	3.4%	12.9%	5.0%	0.6%	7.8%
60代(N=270)	72.2%	5.9%	14.8%	27.4%	4.8%	1.9%	11.9%	4.8%	1.1%	4.1%

	TELASA(テラサ)	FODプレミアム	NHKオンデマンド	WOWOWオンデマンド	TVer(ティーバー)	NHKプラス	radiko(ラジコ)	上記に該当するものはない
全年代(N=1,500)	1.8%	1.9%	4.5%	3.2%	34.7%	7.9%	13.8%	7.3%
10代(N=140)	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	35.7%	2.1%	7.9%	3.6%
20代(N=217)	2.8%	1.4%	2.3%	2.3%	42.9%	3.7%	13.8%	0.5%
30代(N=241)	0.8%	2.5%	2.5%	2.5%	35.3%	5.4%	14.9%	1.2%
40代(N=313)	1.9%	2.2%	3.5%	2.6%	39.6%	8.0%	16.3%	3.8%
50代(N=319)	2.5%	2.8%	7.2%	4.4%	36.1%	11.3%	16.6%	7.8%
60代(N=270)	1.9%	0.7%	8.1%	5.6%	19.6%	12.6%	9.6%	23.7%
男性(N=760)	1.3%	1.4%	5.4%	3.9%	30.4%	8.6%	15.1%	6.2%
女性(N=740)	2.3%	2.3%	3.5%	2.4%	39.1%	7.3%	12.4%	8.5%

(総務省 令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書)

(5) 主な動画共有・配信サービスの種類

種類	特徴
YouTube	無料で動画を閲覧することが可能。12歳未満の場合はYouTubeKidsを利用することで子ども向けのコンテンツのみ表示される。13歳以上についても必要に応じて保護者の管理対象とすることができる。
Amazon プライムビデオ	有料サービスではあるが、アカウントを共有することにより、複数人が使用することが可能。(12歳未満の子ども用プロフィールを作成することが可能)
ABEMA	12歳以上を対象としたサービスで、無料で閲覧が可能。視聴制限等の機能はない。12歳未満も保護者の同意のもと一緒に視聴するよう記載がある。
ニコニコ動画	年齢制限なしで利用できるが、未成年のアカウントには通常アカウントとは異なる機能を提供と記載。ニコニコに登録すると、生放送なども閲覧可能。
Tver	無料で民放各社が作成したテレビコンテンツを閲覧することが可能。会員登録なしで閲覧可能だが、登録をする場合、未成年は保護者の同意を得て申し込む必要がある。

Hulu	有料サービスではあるが、親権者の登録したアカウントにデバイスを共有することにより、閲覧が可能。18歳未満は登録できない。映画を見る場合には、映倫の区分に基づき年齢制限が適用される。12歳未満にはあんしんモードの設定ができ、視聴時間の制限が可能。
Netflix	有料サービスではあるが、同居家族はプロフィールを作成することにより複数人利用することが可能。それぞれのプロフィールに年齢制限を設定することが可能。

(6) 青少年のインターネットや SNS 利用の実態

- ・若年層のインターネットで利用した機能や目的・用途は、小学生以下と中学生以上で多少違いがあるが、「動画投稿・共有サイトの利用」が他の年齢層と比べて順位が高い傾向にある。また、オンラインゲームの利用、e-ラーニングの利用が上位にあることも特徴的と言える。
- ・若年層の SNS の利用目的は、他年代と大きな順位の差はないが、13歳～19歳の順位は「新たな交流関係を広げるため」が他年代と比べて高い。これまでの人間関係とは異なる新たな交流を求めらる中で、悪意ある大人などと接触する可能性があると考えられる。

インターネットで利用した機能・サービスと目的・用途(上位5項目)(年齢階層別)

単位: %

	集計人数(n)	1位	2位	3位	4位	5位
【全体】	27,805	SNS(無料通話機能を含む)の利用 77.2	電子メールの送受信 72.6	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 71.4	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 56.6	動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 55.2
年齢階層別	6~12歳	1,609 動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 73.5	オンラインゲームの利用 55.8	SNS(無料通話機能を含む)の利用 41.7	eラーニング(オンライン授業・学校の補講や演習の課題実施、語学レッスンなど) 34.9	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 28.9
	13~19歳	1,932 SNS(無料通話機能を含む)の利用 85.6	動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 71.6	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 62.5	オンラインゲームの利用 62.3	電子メールの送受信 55.6
	20~29歳	2,400 SNS(無料通話機能を含む)の利用 89.5	電子メールの送受信 76.7	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 74.4	動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 70.5	商品・サービスの購入・取引(デジタルコンテンツを除く) 62.5
	30~39歳	3,170 SNS(無料通話機能を含む)の利用 87.0	電子メールの送受信 82.3	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 82.1	動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 71.3	商品・サービスの購入・取引(デジタルコンテンツを除く) 67.8
	40~49歳	4,346 SNS(無料通話機能を含む)の利用 86.7	電子メールの送受信 82.7	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 80.9	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 66.6	動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 63.2
	50~59歳	4,863 電子メールの送受信 85.0	SNS(無料通話機能を含む)の利用/情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 各々 82.2	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 63.4	商品・サービスの購入・取引(デジタルコンテンツを除く) 59.9	動画投稿・共有サイトの利用(YouTube、ニコニコ動画など) 53.8
	60~69歳	5,104 電子メールの送受信 80.4	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 76.8	SNS(無料通話機能を含む)の利用 74.3	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 58.8	電子政府・電子自治体の利用(電子申請、電子申告、電子届出) 46.9
	70~79歳	3,437 電子メールの送受信 66.4	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 62.6	SNS(無料通話機能を含む)の利用 61.3	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 41.7	電子政府・電子自治体の利用(電子申請、電子申告、電子届出) 37.4
	80歳以上	944 電子メールの送受信 50.4	SNS(無料通話機能を含む)の利用 41.3	情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用) 39.8	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 27.6	電子政府・電子自治体の利用(電子申請、電子申告、電子届出) 26.8

(複数回答)

(R5 総務省 通信利用動向調査(世帯編))

SNSの利用目的(上位5項目)(年齢階層別)

単位: %

	集計 人数 (n)	1位	2位	3位	4位	5位
【全体】	20,670	従来からの知人とのコミュニケーションのため 86.3	知りたいことについて情報を探すため 62.7	ひまつぶしのため 33.0	災害発生時の情報収集・発信のため 23.9	新たな交流関係を広げるため 11.4
年齢階層別	6～12歳	618 従来からの知人とのコミュニケーションのため 67.7	知りたいことについて情報を探すため 34.3	ひまつぶしのため 33.5	災害発生時の情報収集・発信のため 3.4	新たな交流関係を広げるため 2.1
	13～19歳	1,625 従来からの知人とのコミュニケーションのため 91.6	知りたいことについて情報を探すため 60.0	ひまつぶしのため 34.3	新たな交流関係を広げるため 13.6	災害発生時の情報収集・発信のため 12.6
	20～29歳	2,105 従来からの知人とのコミュニケーションのため 90.7	知りたいことについて情報を探すため 75.0	ひまつぶしのため 44.8	災害発生時の情報収集・発信のため 24.3	新たな交流関係を広げるため 19.9
	30～39歳	2,734 従来からの知人とのコミュニケーションのため 83.1	知りたいことについて情報を探すため 74.8	ひまつぶしのため 48.4	災害発生時の情報収集・発信のため 31.8	新たな交流関係を広げるため 17.6
	40～49歳	3,683 従来からの知人とのコミュニケーションのため 85.1	知りたいことについて情報を探すため 63.1	ひまつぶしのため 35.0	災害発生時の情報収集・発信のため 25.0	新たな交流関係を広げるため／自分の情報や作品の発表のため 各々 8.8
	50～59歳	3,923 従来からの知人とのコミュニケーションのため 86.6	知りたいことについて情報を探すため 61.6	ひまつぶしのため 29.3	災害発生時の情報収集・発信のため 26.3	新たな交流関係を広げるため 8.9
	60～69歳	3,651 従来からの知人とのコミュニケーションのため 88.4	知りたいことについて情報を探すため 58.3	災害発生時の情報収集・発信のため 25.7	ひまつぶしのため 19.6	新たな交流関係を広げるため 8.6
	70～74歳	1,314 従来からの知人とのコミュニケーションのため 86.3	知りたいことについて情報を探すため 47.3	災害発生時の情報収集・発信のため 23.0	ひまつぶしのため 12.6	新たな交流関係を広げるため 5.3
	75歳以上	1,017 従来からの知人とのコミュニケーションのため 84.4	知りたいことについて情報を探すため 45.8	災害発生時の情報収集・発信のため 16.3	ひまつぶしのため 13.3	自分の情報や作品の発表のため 4.0

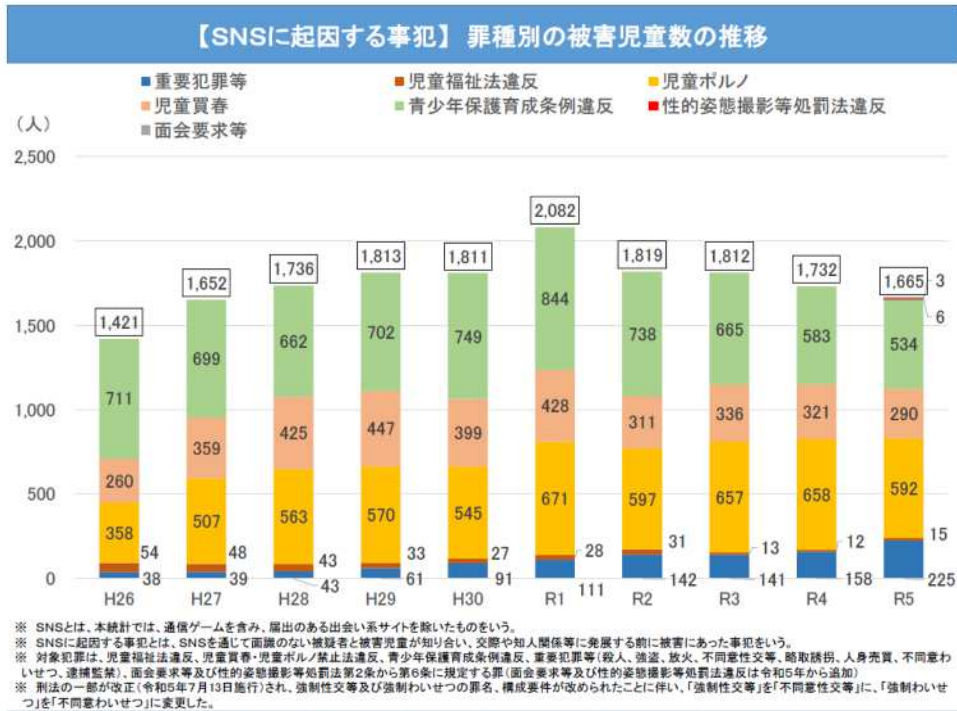
(複数回答)

(R5 総務省 通信利用動向調査 (世帯編))

2 SNSに関連する青少年の被害等

(1) SNSに起因する事犯の推移等

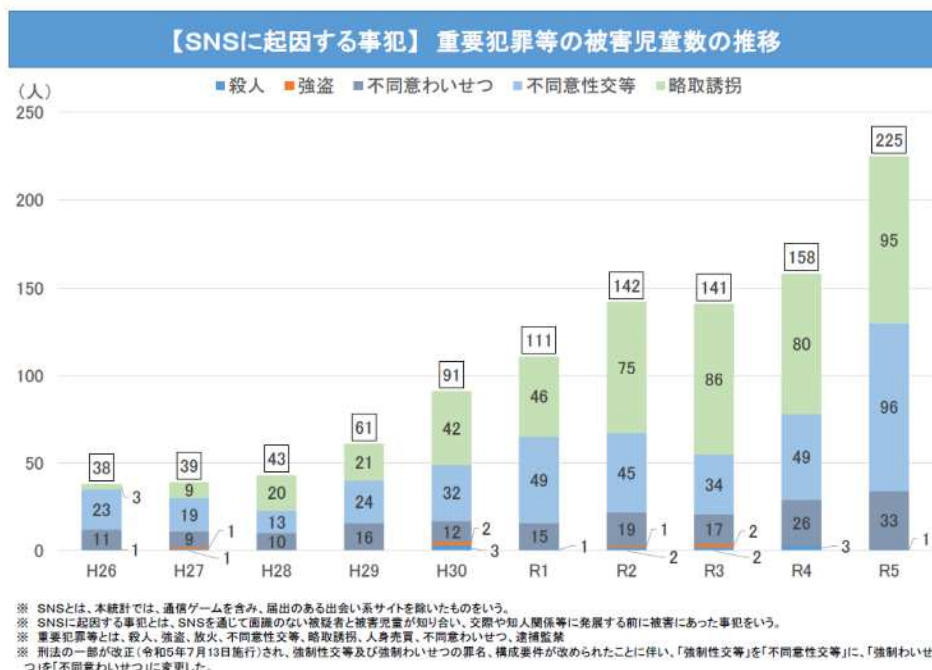
- ・ SNSに起因する事犯（青少年保護育成条例違反、児童買春、児童ポルノ等）の被害児童数は令和2年以降減少傾向にあるが、高い水準で推移している。



SNSに起因する事犯の被害児童数は、令和元年から4年連続減少しているものの、依然として高い水準で推移している。

(警察庁資料(なくそう、子供の性被害HPより))

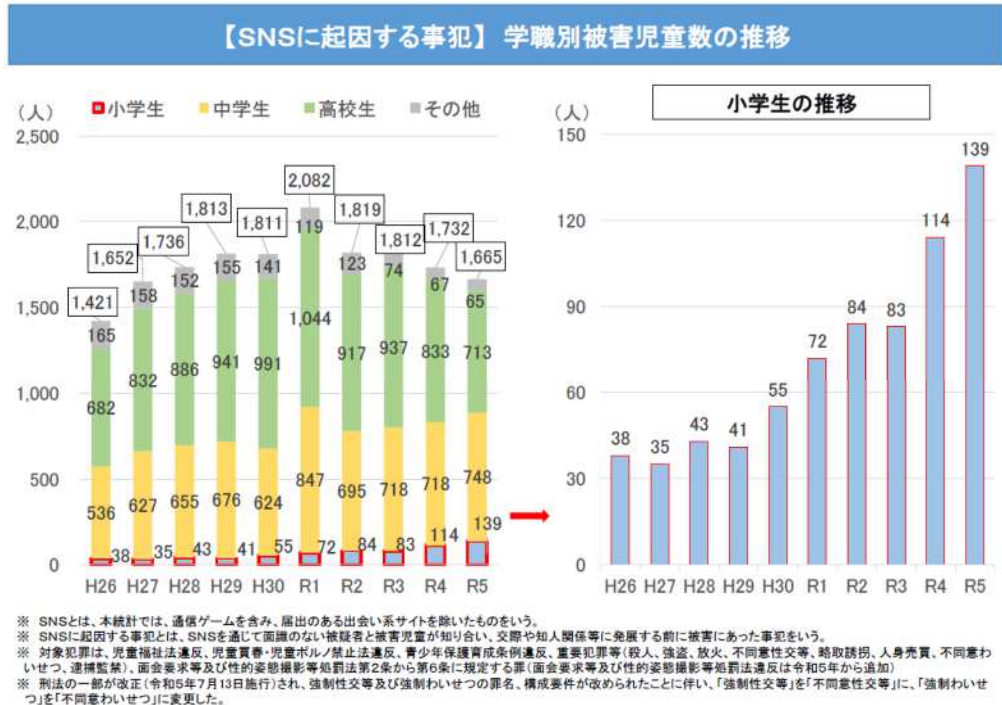
- ・ SNSに起因する重要犯罪(殺人、強盗、不同意わいせつ、不同意性交等、略取誘拐)は近年急激に伸びてきており、中でも不同意わいせつについては前年と比べ約倍増となっている。



SNSに起因する事犯のうち、重要犯罪等の令和5年における被害児童数は、主に不同意性交等の増加により前年から大幅に増加した。

(警察庁資料(なくそう、子供の性被害HPより))

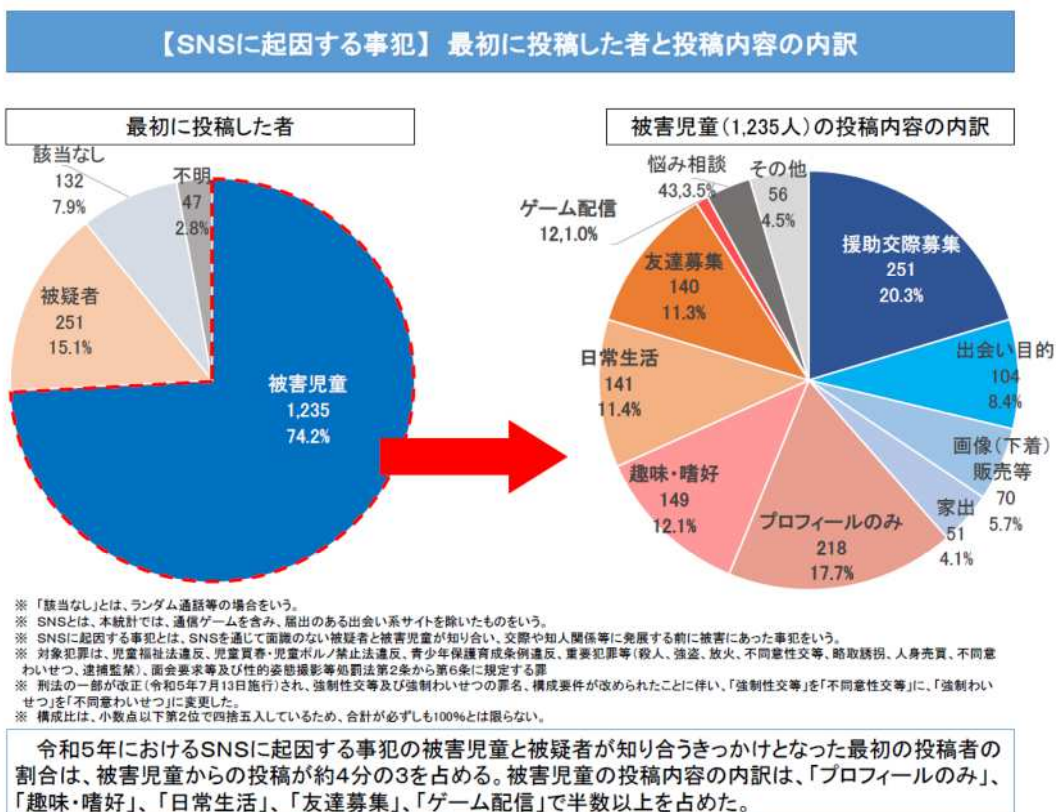
- SNS に起因する事犯の学職別被害児童数の推移のうち、小学生の推移をみると、令和4年以降に急増しており、平成26年に比べて3倍以上に増加している。被害児童数全体は減少しているものの、低年齢化している状況が見られる。



SNSに起因する事犯の令和5年における小学生の被害児童数は、平成26年に比べて3倍以上に増加した。

(警察庁資料 (なくそう、子供の性被害 HP より))

- SNS に起因する事犯は、被害児童側が発信したものが発端となった事例が約4分の3を占めている。「該当なし」は知らない人との通話が可能なランダム通話等によるもので、年齢制限や個人認証なしで利用できるものもあり、注意を要する。また、被害児童の投稿の内訳を見ると、「プロフィールのみ」や「趣味・嗜好」、「日常生活」などに関するものが多い一方で、「援助交際募集」や「下着の画像販売」など性犯罪につながりかねない投稿も約3分の1を占めている。
- 青少年にとって身近なツールであるが、その分警戒心なく不用意に被害につながる情報を投稿し、被害に遭うケースも多いと考えられる。



(警察庁資料(なくそう、子供の性被害HPより))

3 最近の話題・トピック等

(1) 青少年保護育成条例関係

- ・広島県が刑法において16歳未満に対する面会要求罪が設けられたこと等を受け、18歳未満の青少年の被害を未然に防止する観点から、淫行・わいせつ行為の勧誘や性的な画像（児童ポルノ等）の提供要求行為の規制を新設する青少年健全育成条例の改正を行った。（令和6年10月（令和7年1月施行））
→児童ポルノの要求行為の禁止は本県では令和元年の改正において対応済み
- ・東京都がこれまで使用してきた「不健全図書」の名称を変更し、「東京都青少年の健全な育成に関する条例第8条の規定による図書」と表記することとした。条例は改正しないため、条文には「不健全図書」の名称が残り、指定の運用も変えない方針。（都ホームページ上では、がん具類・刃物についても「8条指定がん具類・刃物」と表記されている）（令和6年9月）

(2) インターネット・SNS関係

- ・東京都が令和5年1月に実施した保護者に対する「青少年のスマートフォンの利用に関する調査」の結果によると、子どもが知らない人とやり取りしたと回答した19%のうち、20.3%が「顔や体の写真・動画を送信した」、14.2%が「直接相手と会った」と回答しており、いずれも前年度の結果を上回った。（令和6年4月）
- ・令和6年4月に実施した「全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）」の結果が公表され、児童生徒の生活習慣などを尋ねるアンケートとテスト結果を分析したところ、スマートフォンなどでSNSや動画視聴を行う時間が長いほど、正答率が低くなる傾向が全教科で見られた。（令和6年7月）

(3) 性犯罪・児童ポルノ関係

- ・SNSで知り合った女子中学生にわいせつ目的で面会を要求し、ホテルで性的暴行を加えたとして、横浜市立中学校の臨時的任用教員が逮捕された。（令和6年8月）
- ・茅ヶ崎市内の小学校で令和6年5月に小2の女子児童が小6の男子児童に下半身を触られる性的被害に遭った。その後も学校側が被害を認識しながら学校行事で鉢合わせさせるなど、配慮に欠ける対応を重ね、女子児童が心の傷を負う2次被害にも発展した。（令和6年9月）
- ・令和6年度に入り、当課フォームメールあてに、ライブ配信アプリ（ドキドキライブ）で、女子児童に児童ポルノの提供を求める発言やオンライングルーミングと思われる発言をしている人物がいる等の相談が相次いで発生している。

(4) 違法薬物等

- ・令和5年に警察が大麻事件で検挙した20歳未満の少年が前年比34.0%増の1,222人で過去最高となった。麻薬や覚醒剤事件の摘発も前年から増加。16歳を機に摘発人数が急増している。(令和6年3月)
- ・千葉県内で自称高校生の17歳の少女が覚醒剤取締法違反(所持)の疑いで逮捕。少女の関係者から「(少女が)MDMAを2錠持っている」と情報提供があり発覚した。少女は「錠剤が覚醒剤とは知らなかった」と容疑を一部否認している。(令和6年4月)
- ・東京・歌舞伎町の通称「トー横」付近で、市販薬を過剰摂取する「オーバードーズ」目的の少女に無許可で薬の配布や販売をしたとして22歳の男が逮捕された。せき止め薬440錠を無料で配布したり、せき止め薬400錠を定価の3分の1の1万円で販売。(令和6年9月)

(5) 闇バイト

- ・千葉県の80代女性から現金をだまし取ろうとしたとして、群馬県の16歳の高校生が詐欺未遂の疑いで逮捕された。「闇バイトの仕事としてやった」と供述している。(令和6年5月)
- ・闇バイトから抜けようとした仲間にけがを負わせたとして、東京都北区の男子高校生ら少年4人が逮捕。被害者は、運転手役を務めたが報酬がもらえず、掲示板で「辞める」と連絡したが、別の闇バイトがあると呼び出され、襲われた。逮捕された男子高校生は、指示役から逃げた運転手を連れ戻すよう指示され、逆らえなかったと供述。(令和6年7月)

(6) トー横キッズ等

- ・令和6年の夏休み前に実施した一斉補導で14~17歳21人が補導された。深夜徘徊や喫煙が多いが、オーバードーズ目的での薬物乱用での補導も前年に比べ増加している。(令和6年7月)
- ・東京都がトー横と呼ばれるエリアで若者が犯罪に巻き込まれるのを防ぐため、令和6年5月に開設した相談施設「きみまも@歌舞伎町」の利用者が開設2か月で1,500人以上に達した。一方で、利用者が他の利用者に売春の客を紹介しようとしたりするケースもあったという。また、令和6年9月には施設内で卑わいな行為をしたとして利用者が逮捕される事件が発生するなど、トラブルも相次いでいる。(令和6年8月、9月)